

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第 3423 回例会 (令和 6 年 5 月 15 日・水)

今週のプログラム

5月15日(水) ゲストスピーチ

「アナウンサーの伝わる話し方」

毎日放送 アナウンサー にしむらあさこ 西村麻子氏

次週のプログラム

5月22日(水) ゲストスピーチ

「国内スタートアップ動向とジャフコの投資活動」

ジャフコグループ株式会社 パートナー ふじいあつし 藤井淳史氏

・・・結婚月・・・

西村 康	3日	堀江 貴	3日
藤原 孝行	3日	今井 直樹	8日
後藤 勇	10日	内田 寛	14日
景山 直観	15日	信太 秀夫	17日
谷口 正人	19日	原田 光明	22日
櫻井 誠己	24日		

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
5月17日(金)	出雲南	出雲ロイヤルホテル内事務局
5月22日(水)	大社	出雲商工会旧大社商工会 大社町片葉南1344 事務局
6月17日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
6月18日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
6月20日(木)	松江東	ホテル一畑
6月24日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
6月25日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
6月27日(木)	松江東	ホテル一畑

2024年5月の予定 (★衛星クラブ含む)

5月15日(水) 定例理事会
5月22日(水) 歴代会長会
例会終了後～
ラマージュ

※ 5月29日(水) 休会

第3422回例会記録

令和 6 年 5 月 8 日 (水・曇り)

	会員数 (人)	出席者数 (人)	欠席者数 (人)	出席率 (%) (出席免除会員含む)	前々回補正 (%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	61	46 (リアル46 オンライン0)	15	80.70	92.55

ビジター : 加藤 (名古屋-名東)、田中 (松江南)

メークアップ: 田中、山崎 (松江東)、永通 (松江しんじ湖)、

小林、友塚、中村、山田 (次年度理事役員委員長会)、尾崎 (新旧クラブ協議会)

会務報告

佐藤尚士会長

- 本日は、錦織職業奉仕委員長にお世話になり職場訪問例会で、航空自衛隊 高尾山分屯基地の視察です。
- ビジター紹介 2名
- 衛星クラブから1名参加
- 4月、米山奨学会への寄付をされた小林 祥泰こばやししょうたい会員に、第1回 米山功労者の感謝状が届きましたのでお渡しいたします。
- 山田一磨会員より弔電のお礼ご挨拶



木村俊一郎幹事

- 4月23日、台湾東部地震支援金が35,000円集ま

り、ガバナー事務所へ送金いたしましたのでご報告いたします。ご協力ありがとうございました。

- 本日、食事を済ませたのち、航空自衛隊 高尾山分屯基地へバスで移動します。参加される方は、正面玄関にバスが参りますので移動をお願い致します。運転免許証をお忘れなく。
- 本日、最終夜間例会のご案内を配付致しました。6月19日(水) ホテル一畑平安において開催致します。各理事、委員長の皆様には活動報告をお願い致します。昼の例会はございません。出欠メ切は6月5日(水) 事務局までお願い致します。

委員会報告

- 親睦・出席委員会
出席報告

友塚順子委員長

ニコニコ箱

38,000 円

名古屋-名東：加藤（今後ともどうぞよろしくお願い致します。）

松江南：田中（久しぶりに伺いました。これからもどうぞよろしくお願い致します。）

佐藤尚、原田（本日の職場訪問例会 錦織委員長にはお世話になります。よろしくお願い致します。）

大野（長期間ご迷惑をおかけし申し訳ありません。）

木村（職場訪問例会ですが、体調不良のため欠席します。すみません）

粟井、勝谷有、錦織、庄谷（誕生月）

森岡（出席100%賞）

永通、景山、友塚、棚橋、山田（入会月）

田中、大居（結婚月）

ベストメッセージ賞：該当者なし

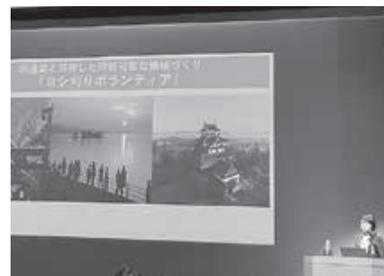
司会 棚橋学会場監督

クラブ活性化ワークショップ

2024年5月12日(日) 日時：13:00~15:30 会場：岡山コンベンションセンター



衛星クラブ 川井香織議長





ふじ 藤原 孝行

我が家の墓は、雲南市木次町にある実家のすぐ近くにあり、先般も彼岸のお墓参りをしてきたところである。母が元気で暮らしていたころは、毎週のように実家に帰っていたので、お墓もそれに近い存在だったが、母が施設に入って、実家が空き家状態となってからは、お墓もだんだんと遠い存在になりつつある。将来的には、現在のお墓をどうするのか、少しずつ考え始めているところである。

こうした状況にあることから、お墓について関心があり、最近のお墓事情について考えてみた。お墓は、これまで家族や子孫が守ってきたわけだが、世の中の変化として、子供と離れて暮らす高齢者が多くなり、子供に負担をかけたくないの、共同墓（お寺であれば永代供養墓）を志向する人が増加している。血縁を越えた多くの人たちと一緒にいる共同墓であれば、墓参りしてくれる人も多く、いつも花があっていいという人も多いという。そして、生前から同じ墓に入る人たちと食事会なども開催し、「墓友」という言葉さえあるそうだ。

また、お墓に納骨せず、海などに散骨する方法を望む人も増えているという。法律では墓地以外

での埋蔵は禁じられているが、散骨は遺骨をまく行為であって、埋蔵ではないため、違法ではないとされているそうだ。

そして、50歳時未婚率が上昇し、遺族がいない死者も増えている。日本では、死後、火葬をしたりお墓に納骨したりする人がいない場合、自治体が遺族の代わりに行わなければならないことになっており、無縁納骨堂に安置される遺体が全国で増加している。遺族がいないため引き受けた遺骨が全国一多い大阪市では、亡くなった人の6人に1人は、遺族がいない死者だとのことである。

海外では、SDGsや環境問題への意識の高まりから墓のあり方が変化しており、特に台湾では、行政主導で大きく変わっているようだ。公営の墓地では墓石などの建造物は建てず、遺骨は火葬後粉砕し、土の中で分解する箱に入れて埋葬することだ。そして墓をなくす代わりに、オンライン上の仮想空間で故人や先祖をしのぶといったバーチャル墓地に移行しているそうだ。

このように、お墓事情はどんどん変化してきており、日本でもバーチャル墓地に移行していくことも考えられ、引き続き関心をもって世の中の動きを見ていきたいと思っている。（商業信用保証）

プログラム

「職場訪問例会 航空自衛隊 高尾山分屯基地視察」
職業奉仕委員会

